

2008年あいりん地域日雇労働調査 9 求人事業所調査

大阪市立大学大学院経済学研究科  
 経済格差研究センター研究員  
 大西 祥 恵

表1 問1 御社はどのような業種ですか(複数回答)

	事業所数	割合
①建設業	193	90.6
許可あり	160	75.1
許可なし	8	3.8
許可有無不明	25	11.7
②運輸業	6	2.8
③製造業	1	0.5
④清掃業	5	2.3
⑤ビルメンテナンス業	0	0.0
⑥警備業	4	1.9
⑦その他	11	5.2
有効回答数	220	103.3
有効回答者数	213	
不明	1	
合計	214	

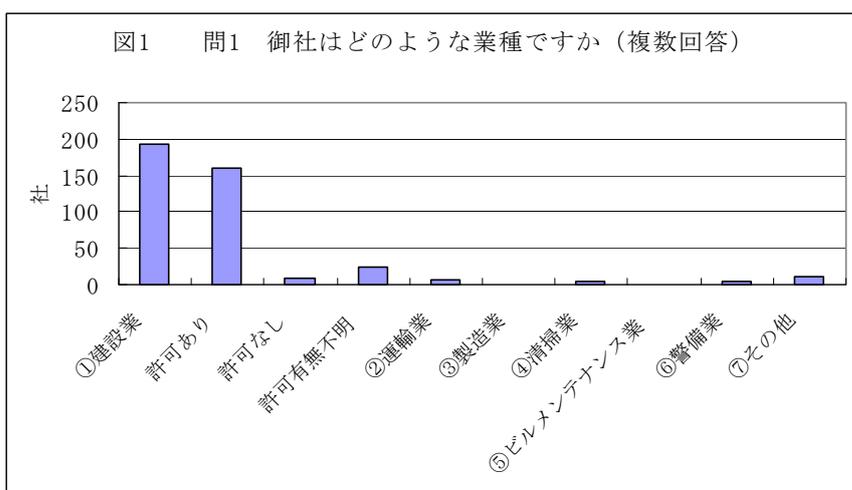
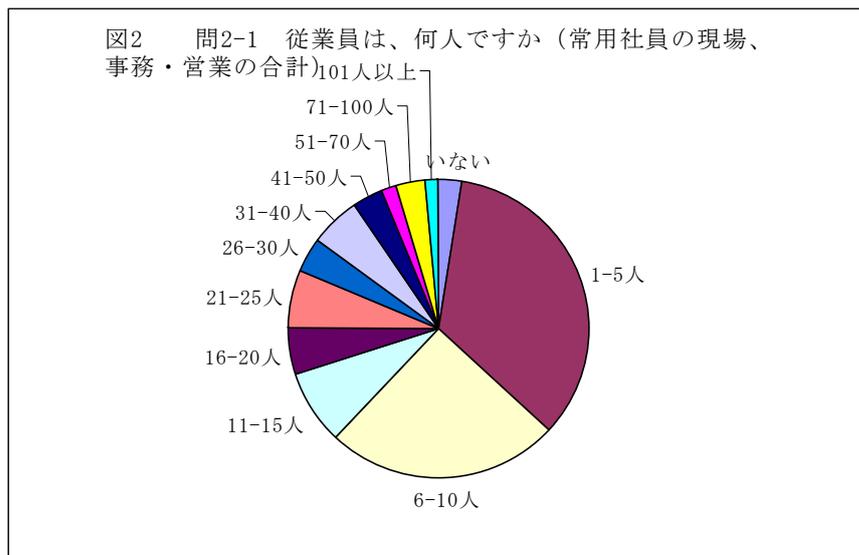


表1、図1は、調査対象の事業所の業種について質問したものである。圧倒的に多かったのは「建

設業」で193社(90.6%)である。建設業については、許可の有無についてもきいたが、許可を有する事業所が160社に上っている。

表2 問2-1 従業員は、何人ですか(常用社員の現場、事務・営業の合計)

	事業所数	割合
いない	5	2.5
1-5人	69	34.5
6-10人	50	25.0
11-15人	16	8.0
16-20人	10	5.0
21-25人	13	6.5
26-30人	7	3.5
31-40人	11	5.5
41-50人	7	3.5
51-70人	3	1.5
71-100人	6	3.0
101人以上	3	1.5
有効回答者数	200	100.0
不明	14	
合計	214	

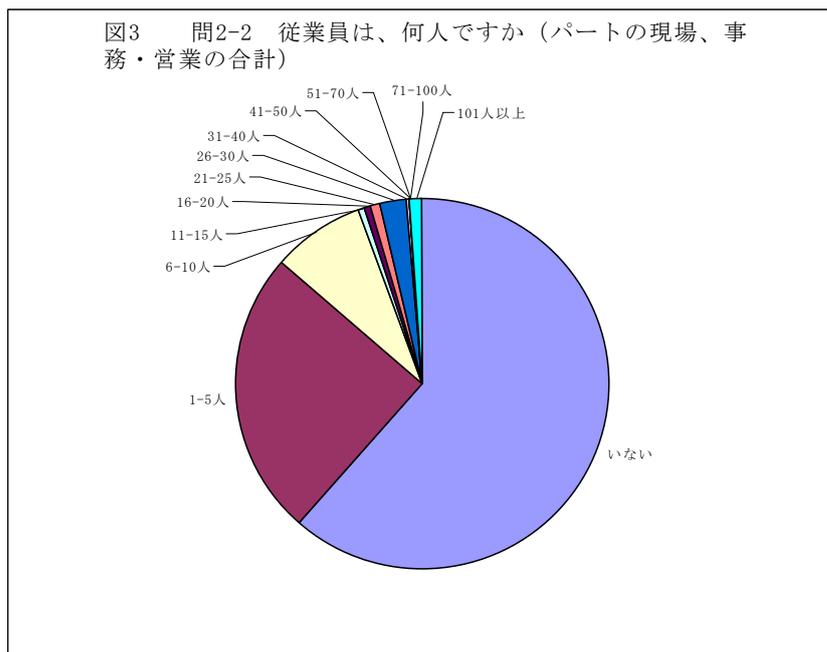


事業所の、常用社員の人数について聞いた結果を示したものが表2、図2である。「1-5人」が69

社 (34.5%) で最も多くなっており、次いで「6-10人」が50社 (25.0%) に上っている。つまり、常用社員の人数が1～10人の事業所が約6割を占めているのである。

表3 問2-2 従業員は、何人ですか(パートの現場、事務・営業の合計)

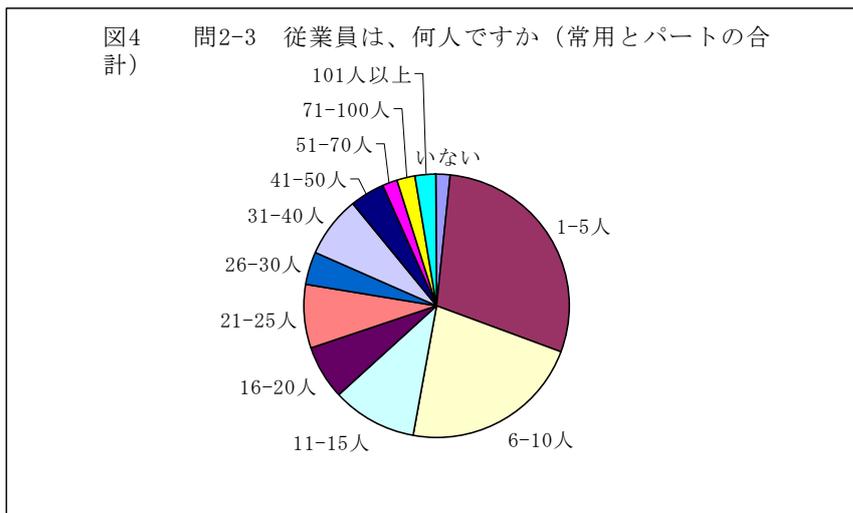
	事業所数	割合
いない	122	61.3
1-5人	50	25.1
6-10人	16	8.0
11-15人	1	0.5
16-20人	1	0.5
21-25人	2	1.0
26-30人	4	2.0
31-40人	1	0.5
41-50人	0	0.0
51-70人	0	0.0
71-100人	0	0.0
101人以上	2	1.0
有効回答者数	199	100.0
不明	15	
合計	214	



次に、事業所のパート社員の人数について聞いた結果を示したものが表3、図3である。「いない」と回答した事業所が122社(61.3%)に上っており、次に多かったのは「1-5人」で50社(25.1%)となっていた。つまり、パート社員の人数が5人以下の事業所が8割5分を超えているのである。

表4 問2-3 従業員は、何人ですか(常用とパートの合計)

	事業所数	割合
いない	3	1.5
1-5人	57	29.2
6-10人	43	22.1
11-15人	20	10.3
16-20人	13	6.7
21-25人	15	7.7
26-30人	8	4.1
31-40人	15	7.7
41-50人	8	4.1
51-70人	4	2.1
71-100人	4	2.1
101人以上	5	2.6
有効回答者数	195	100.0
不明	19	
合計	214	



事業所の常用社員とパート社員の合計の人数について聞いた結果を示したものが表4、図4であ

る。「1-5人」と回答した事業所が57社(29.2%)、「6-10人」と回答した事業所が43社(22.1%)となっている。つまり、10人以下の事業所は過半数を超えており、事業所の規模はかなり小さいといえる。

表5 問3 どの段階での請負を主に行っていますか  
(複数回答)

	事業所数	割合
①元請	63	29.6
②一次下請	109	51.2
③二次下請	120	56.3
④三次下請以下	60	28.2
⑤その他	10	4.7
有効回答者数	213	100.0
不明	1	
合計	214	

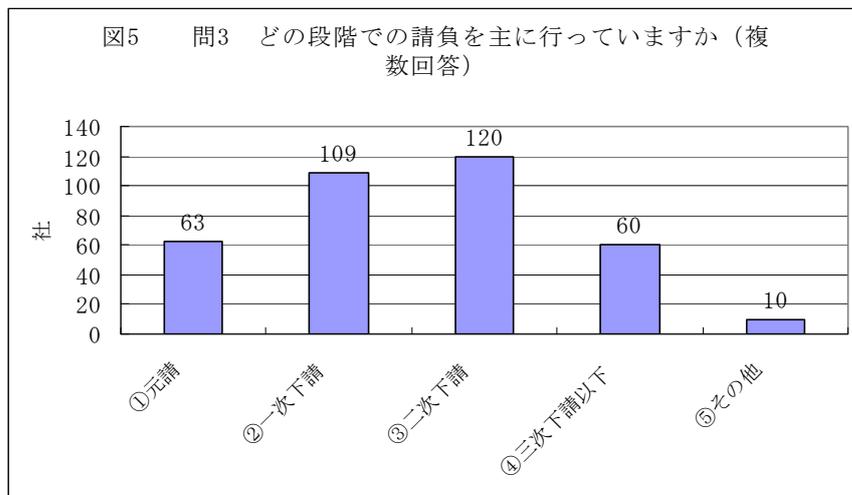


表5、図5は、事業所がどの段階での請負かを複数回答で聞いた結果を示したものである。「二次下請」と回答したところが120社(56.3%)、「一次下請」と回答したところが109社(51.2%)に上り、いずれも過半数を超えていた。

一方で「元請」は63社(29.6%)と3割弱に過ぎず、多くの場合は重層下請構造のなかに組み込まれて事業を行っていることがわかる。

表6 問4 公共事業と民間事業の割合はどのくらいですか

	事業所数	割合
0:10	44	22.6
1:9	34	17.4
2:8	35	17.9
3:7	15	7.7
4:6	7	3.6
5:5	15	7.7
6:4	6	3.1
7:3	8	4.1
8:2	13	6.7
9:1	7	3.6
10:0	7	3.6
その他の比率	4	2.1
有効回答者数	195	100.0
不明	19	
合計	214	

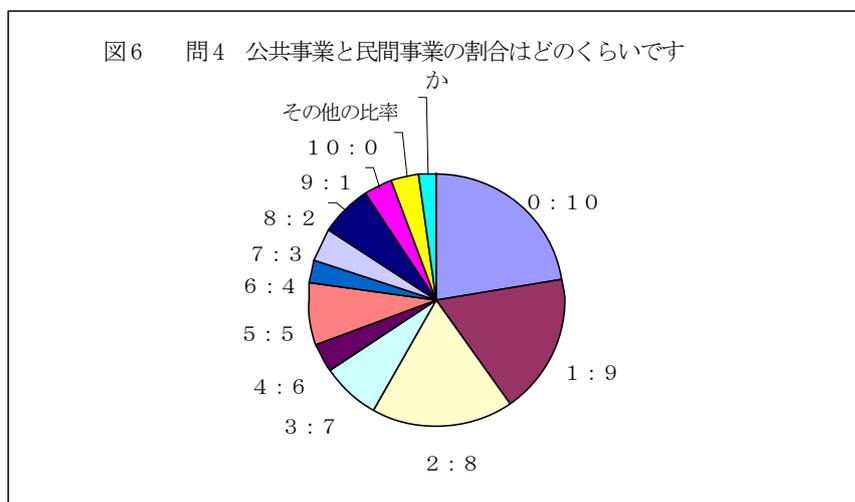


表6、図6で公共事業と民間事業の割合を問うたところ、多かったのは「0:10」、「2:8」、「1:9」でそれぞれ44社(22.6%)、35社(17.9%)、35社(17.4%)となっており、いずれも大幅に民間事業の方が高い割合を示していることがわかる。

表7 問5 今年の事業の忙しさの度合いはどうか

	事業所数	割合
①例年より忙しい	8	3.8
②例年並み	41	19.6
③例年より仕事が少ない	152	72.7
④全く仕事がない	8	3.8
有効回答者数	209	100.0
不明	5	
合計	214	

図7 問5 今年の事業の忙しさの度合いはどうか

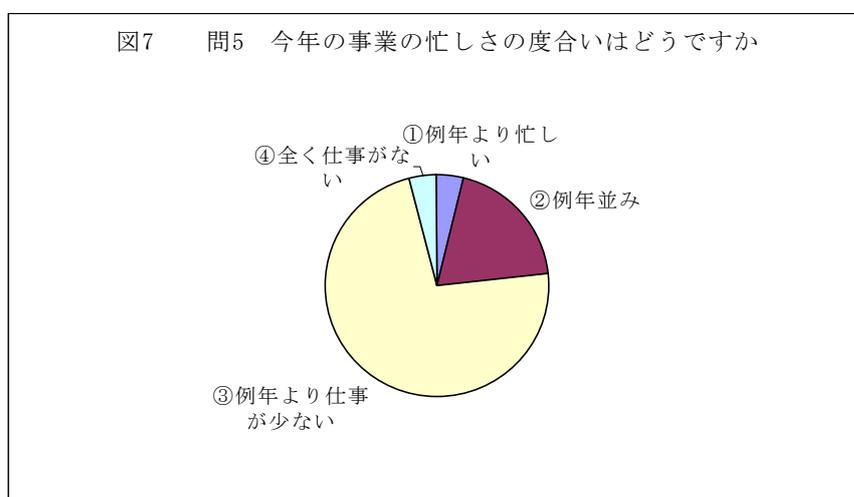


表7、図7は今年の事業の忙しさの度合いについて聞いた結果を示したものである。「例年より仕事が少ない」と答えたところが152社(72.7%)に上っており、圧倒的多数を占めているといえる。ちなみに、「例年並み」と回答したところは41社(19.6%)となっており、約2割を占めている。

表8 問6 宿舎(飯場)はありますか

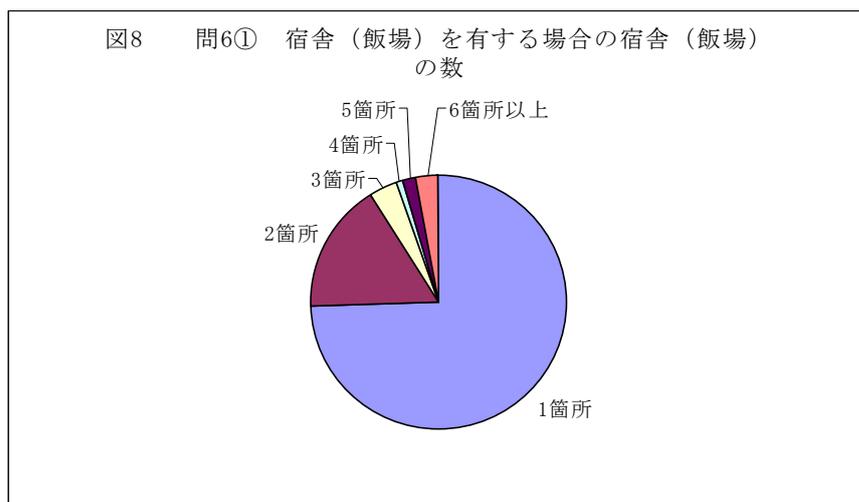
	事業所数	割合
①ある	125	59.8
②ない	84	40.2
有効回答者数	209	100.0
不明	5	
合計	214	

宿舎(飯場)を有しているかどうかを聞いた結果を示したものが表8である。これによると、「ある」と回答したところが125社(59.8%)、「ない」と回答したところが84社(40.2%)となっ

おり、「ある」と回答したところの方が20ポイントほど高くなっている。

表9 問6① 宿舎(飯場)を有する場合の宿舎(飯場)の数

	事業所数	割合
1箇所	84	74.3
2箇所	19	16.8
3箇所	4	3.5
4箇所	1	0.9
5箇所	2	1.8
6箇所以上	3	2.7
有効回答者数	113	100.0
不明	12	
非該当	89	
合計	214	

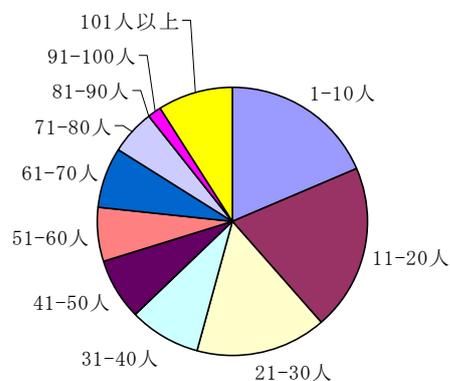


宿舎(飯場)を有すると回答した事業所に、その数を聞いたところ、「1箇所」と回答したところが84社(74.3%)で約7割5分にあがっていた。次に多かったのは「2箇所」と回答したところで、19社(16.8%)となっている。

表 10 問6-1 宿舎(飯場)の総収容人数は何人位ですか

	事業所数	割合
1-10人	23	18.5
11-20人	25	20.2
21-30人	19	15.3
31-40人	11	8.9
41-50人	9	7.3
51-60人	8	6.5
61-70人	9	7.3
71-80人	7	5.6
81-90人	0	0.0
91-100人	2	1.6
101人以上	11	8.9
有効回答者数	124	100.0
不明	1	
非該当	89	
合計	214	

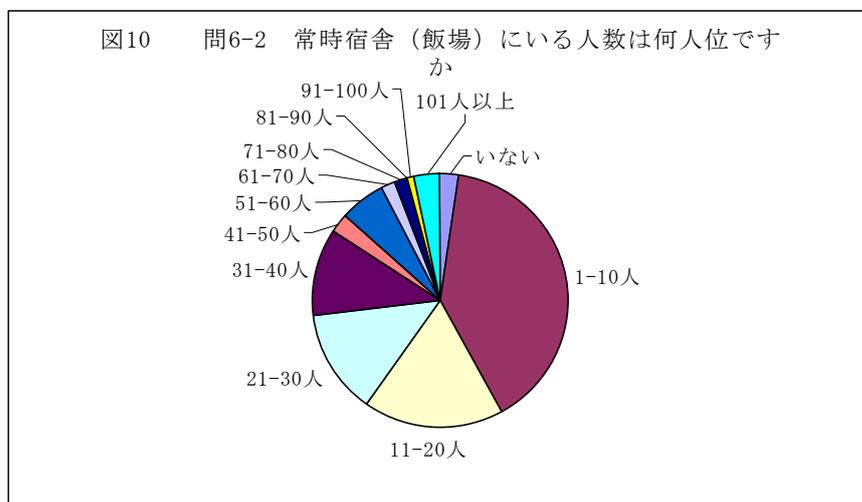
図9 問6-1 宿舎(飯場)の総収容人数は何人位ですか



宿舎(飯場)を有すると回答した事業所に、その総収容人数を問うた結果が表10、図9である。「11-20人」と回答したところが最も多くて25社(20.2%)、次いで、「1-10人」で23社(18.5%)、「21-30人」で19社(15.3%)となっている。

表 11 問6-2 常時宿舎(飯場)にいる人数は何人位ですか

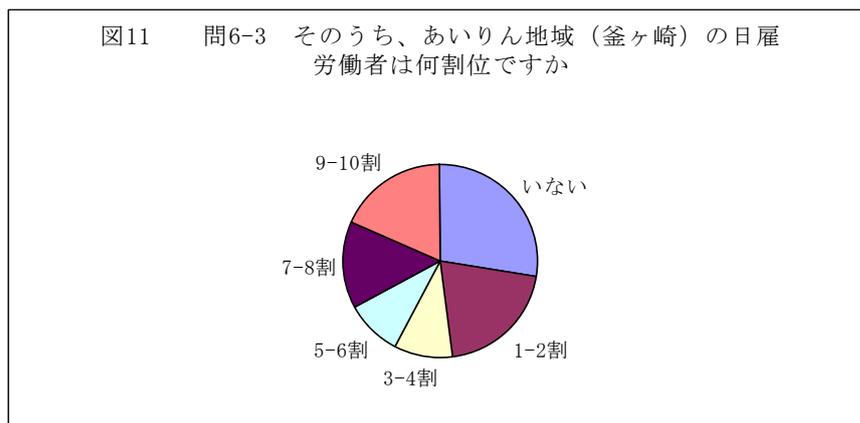
	事業所数	割合
いない	3	2.5
1-10人	47	39.5
11-20人	21	17.6
21-30人	16	13.4
31-40人	13	10.9
41-50人	3	2.5
51-60人	7	5.9
61-70人	2	1.7
71-80人	2	1.7
81-90人	0	0.0
91-100人	1	0.8
101人以上	4	3.4
有効回答者数	119	100.0
不明	6	
非該当	89	
合計	214	



宿舎(飯場)を有すると回答した事業所に、常時宿舎(飯場)にいる人数を問うた結果が表 11、図 10 である。「1-10人」と回答したところが 47 社 (39.5%) で最も多く、4 割を占めている。次に多かったのが「11-20人」で、21 社 (17.6%) となっている。

表 12 問6-3 そのうち、あいりん地域(釜ヶ崎)の  
日雇労働者は何割位ですか

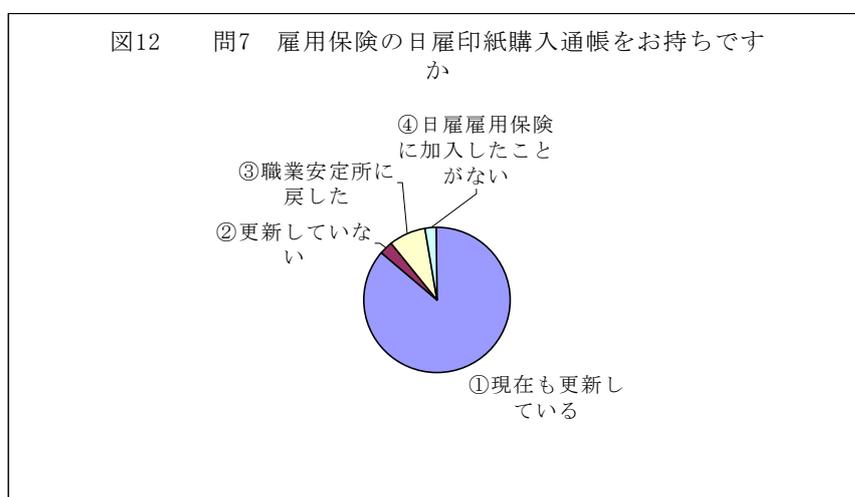
	事業所数	割合
いない	32	27.8
1-2割	23	20.0
3-4割	11	9.6
5-6割	11	9.6
7-8割	17	14.8
9-10割	21	18.3
有効回答者数	115	100.0
不明	10	
非該当	89	
合計	214	



宿舎(飯場)を有すると回答した事業所に、そのうちあいりん地域(釜ヶ崎)の日雇労働者は何割位を占めるのかを問うた結果が表12、図11である。「いない」、「1-2割」がそれぞれ32社(27.8%)、23社(20.0%)いずれも2割を超えており、高い割合を占めている一方で、「9-10割」も21社(18.3%)と2割弱を占めている。これは、事業所があいりん地域(釜ヶ崎)の日雇労働者を雇用しない傾向にあるところと、雇用している労働者の大半があいりん地域(釜ヶ崎)の日雇労働者であるところのいずれかに、分かれてきているためだと思われる。

表 13 問 7 雇用保険の日雇印紙購入通帳をお持ちですか

	事業所数	割合
①現在も更新している	178	86.0
②更新していない	7	3.4
③職業安定所に戻した	17	8.2
④日雇雇用保険に加入したことがない	5	2.4
有効回答者数	207	100.0
不明	7	
合計	214	

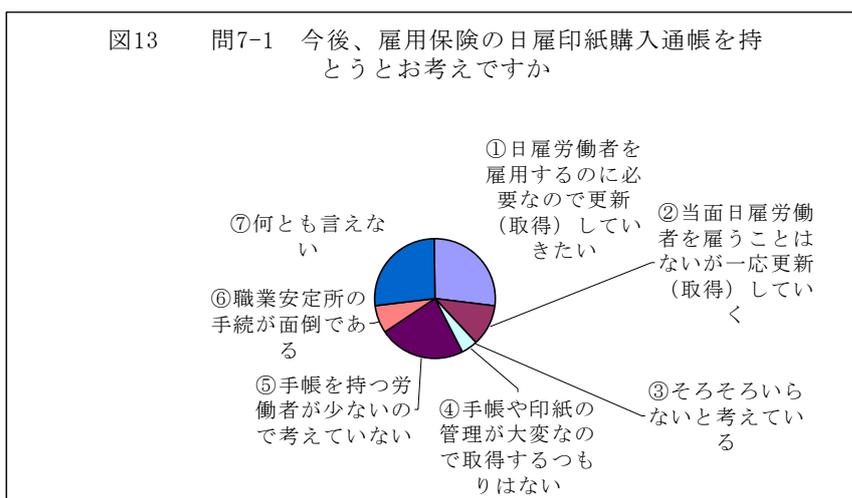


雇用保険の日雇印紙購入通帳を所有しているかどうかについて聞いたところ、「現在も更新している」と回答した事業所が 178 社（86.0%）と、8 割 5 分を超えて圧倒的多数を占めていることがわかる（表 12、図 11）。

表 14 問 7-1 今後、雇用保険の日雇印紙購入通帳を持つとお考えですか

	事業所数	割合
①日雇労働者を雇用するのに必要なので更新(取得)していきたい	7	26.9
②当面日雇労働者を雇うことはないが一応更新(取得)していく	3	11.5
③そろそろいらないと考えている	0	0.0
④手帳や印紙の管理が大変なので取得するつもりはない	1	3.8
⑤手帳を持つ労働者が少ないので考えていない	6	23.1
⑥職業安定所の手続が面倒である	2	7.7
⑦何とも言えない	7	26.9
有効回答者数	26	100.0
不明	3	
非該当	185	
合計	214	

図13 問7-1 今後、雇用保険の日雇印紙購入通帳を持つとお考えですか



雇用保険の日雇印紙購入通帳を所有しているかどうかについて聞いたところ、「更新していない」、「職業安定所に戻した」、「日雇雇用保険に加入したことがない」と回答した事業所に対して、今後所有の考えがあるかどうかを聞いた結果を示したのが表 14、図 13 である。「日雇労働者を雇用するのに必要なので更新(取得)していきたい」、「何とも言えない」、「手帳を持つ労働者が少ないので考えていない」と回答したところがそれぞれ 7 社、7 社、6 社に上っていることがわかる。

表 15 問 8 建設業退職金共済(建退共)に加入していますか

	事業所数	割合
①している	98	47.8
②していない	107	52.2
有効回答者数	205	100.0
不明	9	
合計	214	

表 15 は、建設業退職金共済（建退共）に加入しているかどうかを聞いた結果を示したものである。「していない」と回答した事業所が 107 社（52.2%）、「している」と回答した事業所が 98 社（47.8%）となっており、建退共に加入していない事業所の方が若干多いことがわかる。

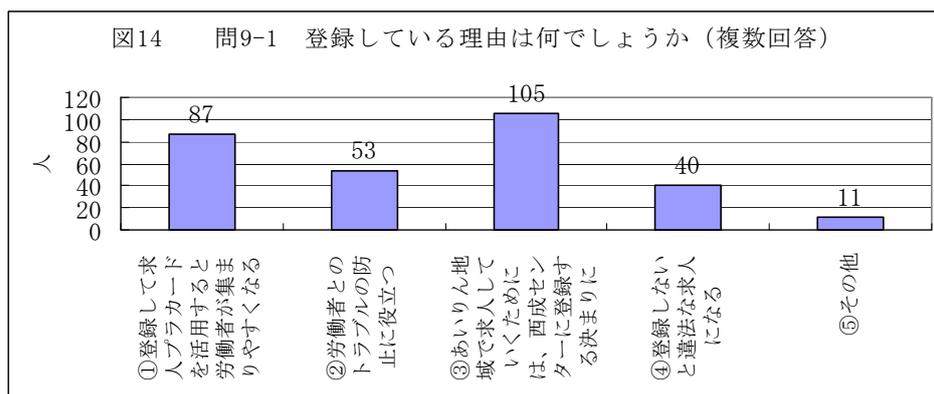
表 16 問 9 西成センターに事業所登録していますか

	事業所数	割合
①している	200	97.1
②していない	6	2.9
有効回答者数	206	100.0
不明	8	
合計	214	

西成センターに事業所登録をしているかどうかを聞いたところ、「している」と回答した事業所が 200 社（97.1%）、「していない」と回答した事業所が 6 社（2.9%）となっており、ほとんどの事業所が西成センターに事業所登録をしていることがわかる（表 16）。

表 17 問9-1 登録している理由は何でしょうか(複数回答)

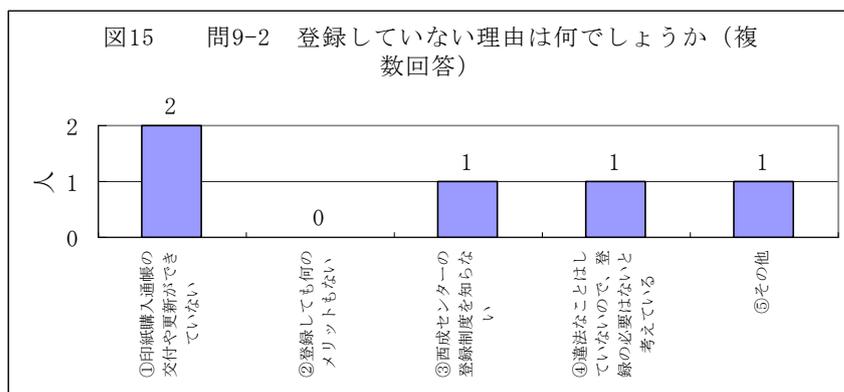
	事業所数	割合
①登録して求人プラカードを活用すると労働者が集まりやすくなる	87	47.5
②労働者とのトラブルの防止に役立つ	53	29.0
③あいりん地域で求人していくためには、西成センターに登録する決まりになっている	105	57.4
④登録しないと違法な求人になる	40	21.9
⑤その他	11	6.0
有効回答数	296	161.7
有効回答者数	183	
不明	17	
非該当	14	
合計	214	



事業所登録をしていると回答した事業所に、登録している理由について複数回答で聞いた結果を示したのが、表 17、図 14 である。「あいりん地域で求人していくためには、西成センターに登録する決まりになっている」と回答した事業所が 105 社 (57.4%) で最も多くなっている。次に多かったのが、「登録して求人プラカードを活用すると労働者が集まりやすくなる」で 87 社 (47.5%) であった。

表 18 問9-2 登録していない理由は何でしょうか(複数回答)

	事業所数	割合
①印紙購入通帳の交付や更新ができていない	2	50.0
②登録しても何のメリットもない	0	0.0
③西成センターの登録制度を知らない	1	25.0
④違法なことはしていないので、登録の必要はないと考えている	1	25.0
⑤その他	1	25.0
有効回答数	5	125.0
有効回答者数	4	
不明	2	
非該当	208	
合計	214	



反対に、西成センターの事業所登録をしていない事業所6社に対して、その理由を聞いた結果を示したのが表18、図15である。「印紙購入通帳の交付や更新ができていない」と回答した事業所が2社、「西成センターの登録制度を知らない」、「違法なことはしていないので、登録の必要はないと考えている」、「その他」と回答した事業所がそれぞれ1社みられた。

表 19 問 10① あいりん地域の労働者やその他の労働者も含めて日雇現金や契約で就労している労働者は何人くらいですか  
(最大一日あたり約〇人)

	事業所数	割合
いない	9	5.2
1-5 人	38	21.8
6-10 人	49	28.2
11-15 人	14	8.0
16-20 人	20	11.5
21-25 人	4	2.3
26-30 人	11	6.3
31-40 人	6	3.4
41-50 人	7	4.0
51-70 人	4	2.3
71-100 人	9	5.2
101 人以上	3	1.7
有効回答者数	174	100.0
不明	40	
合計	214	

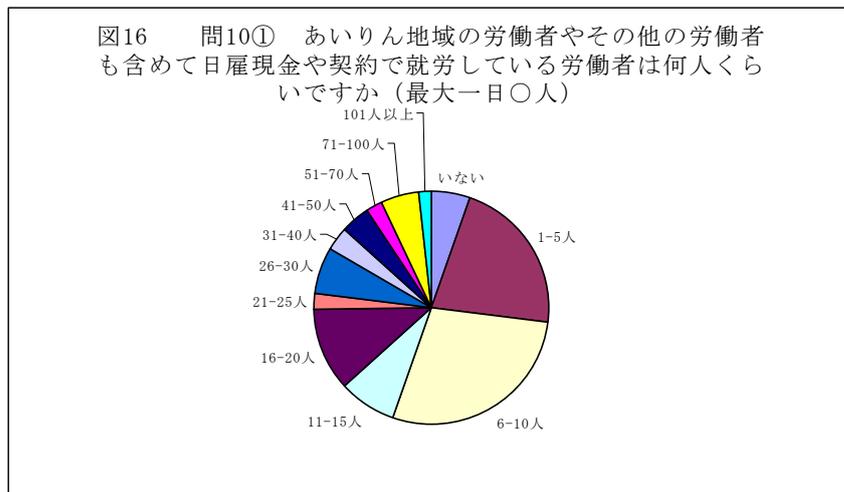


表 19、図 16 は、あいりん地域の労働者やその他の労働者も含めて日雇現金や契約で就労している労働者は何人位かを、一日あたりの最大の人数で聞いた結果を示したものである。「6-10 人」、「1-5 人」と回答した事業所が、それぞれ 49 社 (28.2%)、38 社 (21.8%) を占めており、この 2 つの項目を合計すると半数に上っている。

表 20 問 10② あいりん地域の労働者やその他の労働者も含めて日雇現金  
や契約で就労している労働者は何人くらいですか(平均一日あたり約〇人)

	事業所数	割合
いない・平均すると1人に満たない	16	9.2
1-5人	91	52.6
6-10人	28	16.2
11-15人	4	2.3
16-20人	7	4.0
21-25人	3	1.7
26-30人	5	2.9
31-40人	7	4.0
41-50人	3	1.7
51-70人	6	3.5
71-100人	1	0.6
101人以上	2	1.2
有効回答者数	173	100.0
不明	41	
合計	214	

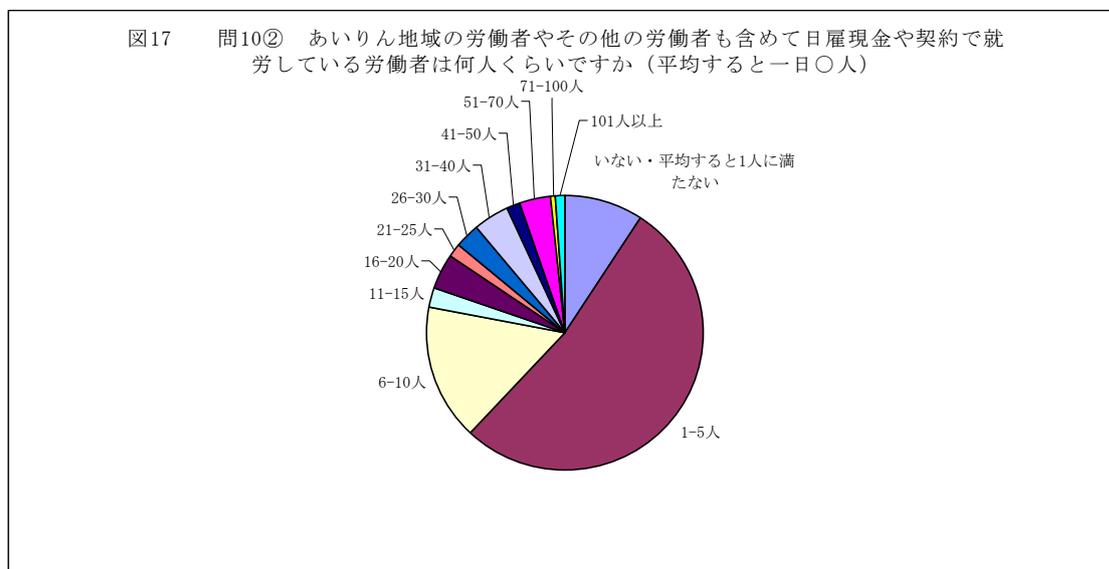


表 20、図 17 は、あいりん地域の労働者やその他の労働者も含めて日雇現金や契約で就労している労働者は何人位かを、一日あたりの平均の人数で聞いた結果を示したものである。「1-5人」と回答した事業所が、91社(52.6%)と過半数で突出して高い割合を占めている。次に多かったのは「6-10

人」と回答した事業所で、28社（16.2%）となっている。

表 21 問 11 最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇ったことがありますか

	事業所数	割合
①はい	185	88.1
②いいえ	25	11.9
有効回答者数	210	100.0
不明	4	
合計	214	

表 21 は、最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇ったことがあるかどうかを問うた結果を示したものである。「はい」と回答した事業所は 185 社（88.1%）、「いいえ」と回答した事業所は 25 社（11.9%）となっており、最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇用したことがある事業所が 9 割弱に上っていることがわかる。

以後、問 25 までは、最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇用した事業所についての調査結果である。

表 22 問 12 あいりん地域で求人をされる理由は何でしょうか（複数回答）

	事業所数	割合
①あいりん地域外では、日雇労働者が見つからない	77	43.0
②急ぎの仕事があるときにあいりん地域以外では探すことができない	78	43.6
③あいりん地域で求人をする他に、約束している労働者を迎えにくるのに便利である	36	20.1
④宿舎に一定の労働者を確保する必要がある	39	21.8
⑤あいりん地域での求人活動の場所を確保しておく必要がある	46	25.7
⑥仕事が増えたときに対応できるよう労働者との顔つなぎや情報を集める必要がある	88	49.2
⑦賃金が安く雇えるから	7	3.9
⑧職安等の紹介労働者に比べあいりん地域の労働者は技能があり良く仕事ができる	33	18.4
有効回答数	404	225.7
有効回答者数	179	
不明	6	
非該当	29	
合計	214	

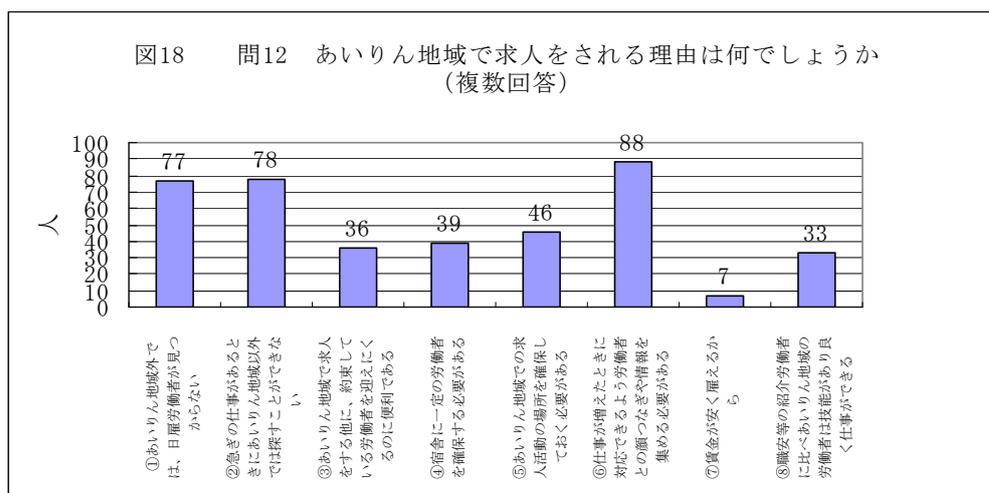
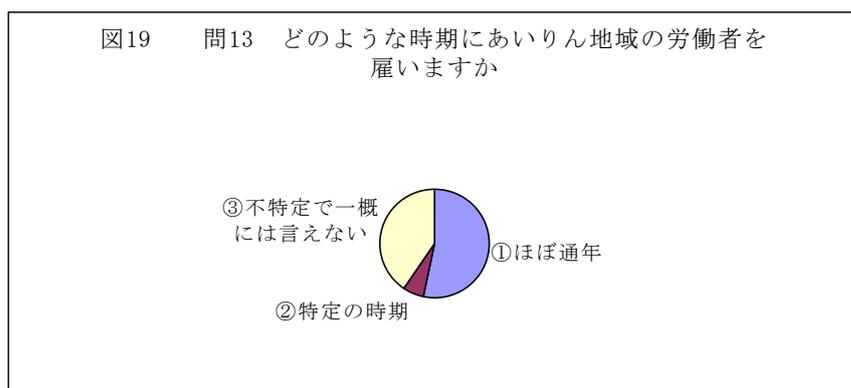


表 22、図 18 は、事業所があいりん地域で求人をする理由について聞いた結果を示したものである。「仕事が増えたときに対応できるよう労働者との顔つなぎや情報を集める必要がある」と回答した事業所が 88 社 (49.2%) と半数弱で最も高い割合を占めている。次いで、「急ぎの仕事があるときにあいりん地域以外では探すことができない」と回答した事業所が 78 社 (43.6%)、「あいりん地域外では、日雇労働者が見つからない」と回答した事業所が 77 社 (43.0%) で続いており、いずれも 4 割を超えている。

表 23 問 13 どのような時期にあいりん地域の労働者を雇いますか

	事業所数	割合
① ほぼ通年	95	53.4
② 特定の時期	11	6.2
③ 不特定で一概には言えない	72	40.4
有効回答者数	178	100.0
不明	7	
非該当	29	
合計	214	



一年間のどのような時期にあいりん地域の労働者を雇用するのかを聞いた結果を示したものが表23、図19である。これによると「ほぼ通年」と回答した事業所が95社（53.4%）で過半数に上っている。一方で、「不特定で一概には言えない」と回答した事業所も72社（40.4%）あり、4割を占めていることがわかる。

表24 問13-1 あいりん地域の労働者を雇う特定の時期を有する事業所

	事業所数	割合
4～10月頃	1	9.1
6～10月頃	1	9.1
7～8月頃	1	9.1
7～10月頃	1	9.1
9～3月頃	1	9.1
10～12月頃	1	9.1
10～3月頃	1	9.1
11～3月頃	1	9.1
12～3月頃	2	18.2
2～3月頃	1	9.1
有効回答者数	11	100.0
不明	0	
非該当	203	
合計	214	

問13であいりん地域の労働者を特定の時期に雇用すると回答した事業所11社に対して、いつ頃の時期に雇用するかを自由回答で書いてもらった結果を示したものが、表24である。春から秋にかけてと、秋冬から年度末にかけての時期を挙げた事業所が多いように思われる。

表 25 問 14 御社が雇う全ての日雇労働者のうち、  
あいりん地域の日雇労働者の割合はどの位ですか

	事業所数	割合
①100%	36	19.7
②75%以上 100%未満	52	28.4
③50%以上 75%未満	28	15.3
④25%以上 50%未満	45	24.6
⑤ほとんどない	22	12.0
有効回答者数	183	100.0
不明	2	
非該当	29	
合計	214	

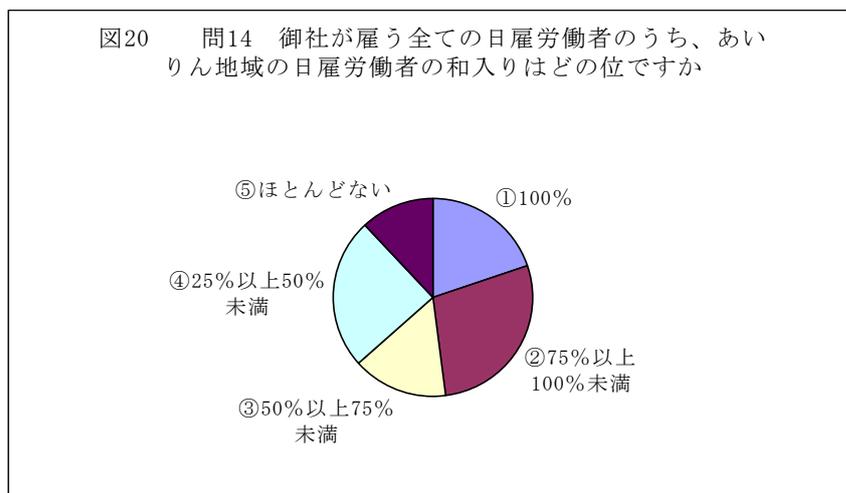
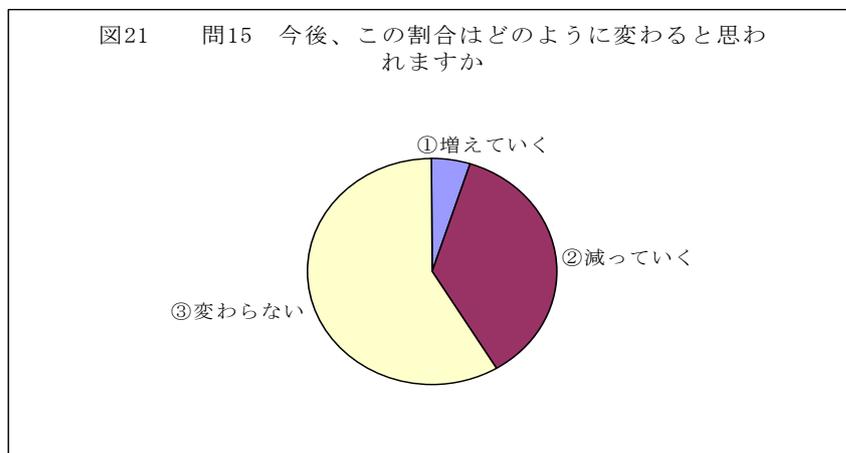


表 25、図 20 は、事業所が雇う全ての日雇労働者のうち、あいりん地域の日雇労働者の割合はどの位かを聞いた結果を示したものである。「75%以上 100%未満」と回答した事業所が 52 社 (28.4%)、「25%以上 50%未満」と回答した事業所が 45 社 (24.6%) となっており、それぞれ約 3 割、約 2 割 5 分を占めていることがわかる。

表 26 問 15 今後、この割合はどのように変わると  
 思われますか

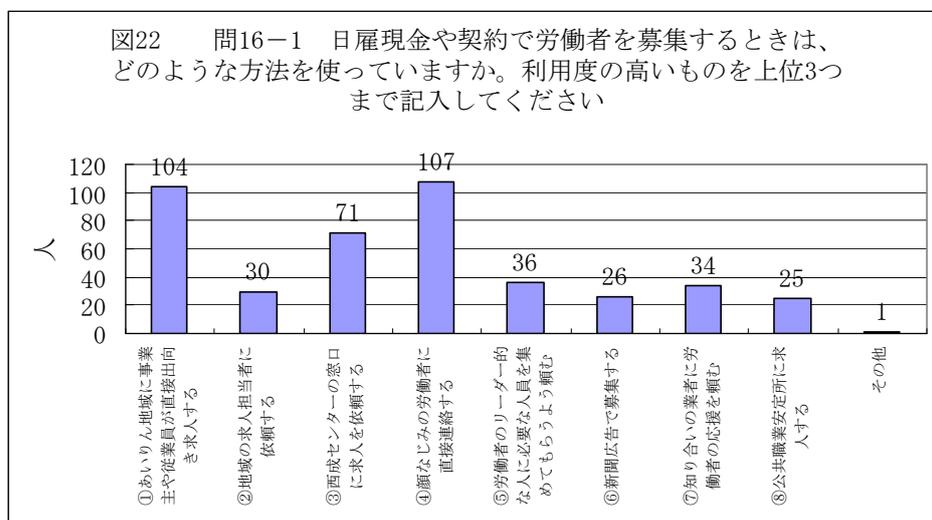
	事業所数	割合
①増えていく	9	5.0
②減っていく	66	36.5
③変わらない	106	58.6
有効回答者数	181	100.0
不明	4	
非該当	29	
合計	214	



今後、事業所が雇う全ての日雇労働者のうち、あいりん地域の日雇労働者の割合はどのように変わると思われるかを聞いたところ、「変わらない」と回答したところが 106 社（58.6%）となり、6 割弱に上っている。しかし、一方で「減っていく」と回答したところも 66 社（36.5%）と一定数を占めている。

表 27 問 16-1 日雇現金や契約で労働者を募集するときは、どのような方法を使っていますか。  
利用度の高い者を上位 3 つまで記入してください

	事業所数	割合
①あいらん地域に事業主や従業員が直接出向き求人する	104	58.8
②地域の求人担当者に依頼する	30	16.9
③西成センターの窓口で求人を依頼する	71	40.1
④顔なじみの労働者に直接連絡する	107	60.5
⑤労働者のリーダー的な人に必要な人員を集めてもらうよう頼む	36	20.3
⑥新聞広告で募集する	26	14.7
⑦知り合いの業者に労働者の応援を頼む	34	19.2
⑧公共職業安定所に求人する	25	14.1
その他	1	0.6
有効回答数	434	245.2
有効回答者数	177	
不明	8	
非該当	29	
合計	214	



問 16 は、日雇現金や契約で労働者を募集するときの方法について、利用度の高いものから上位 3 つまで記入してもらうものであったが、実際に順位まで記入いただいた事業所は 132 社であり、全体の 6 割強であった。しかし、順位を記入していないものの、項目を選択していただいた事業所を合わせると 177 社と全体の 8 割に上っていた。

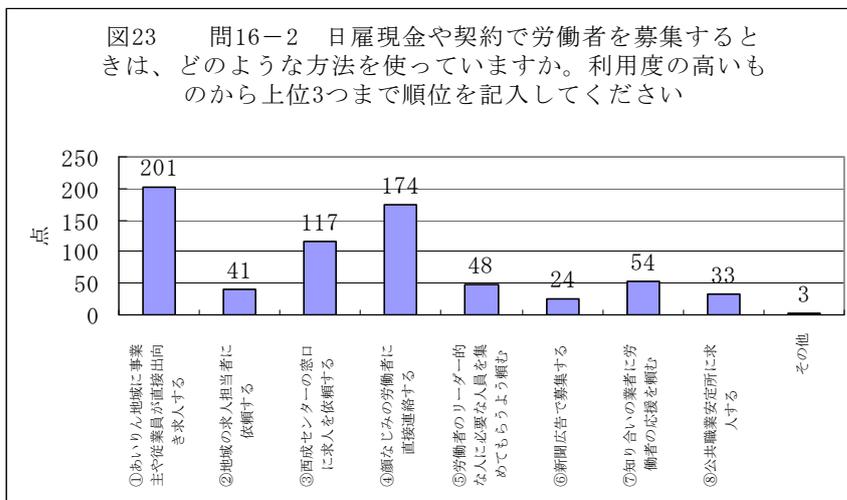
そのため、順位にかかわらず、上位 3 つまでのものとして選択されていた項目の数に関する分析

と、順位の記入のあったものだけを取り出して、順位を反映させての分析の両方を行うことにした。

表 27、図 22 は、順位にかかわらず、上位 3 つまでのものとして選択されていた項目の数を示したものである。これによると、「顔なじみの労働者に直接連絡する」が 107 社（60.5%）と最も多くの事業所から選択されていた。次に多かった項目が「あいりん地域に事業主や従業員が直接出向き求人する」で 104 社（58.8%）の事業所から選択されていた。また、「西成センターの窓口を依頼する」を選択した事業所も 71 社（40.1%）と 4 割を超えていた。

表 28 問 16-2 日雇現金や契約で労働者を募集するときは、どのような方法を使っていますか。利用度の高いものから上位 3 つまで記入してください

	得点
①あいりん地域に事業主や従業員が直接出向き求人する	201
②地域の求人担当者に依頼する	41
③西成センターの窓口を依頼する	117
④顔なじみの労働者に直接連絡する	174
⑤労働者のリーダー的な人に必要な人員を集めてもらうよう頼む	48
⑥新聞広告で募集する	24
⑦知り合いの業者に労働者の応援を頼む	54
⑧公共職業安定所に求人する	33
その他	3
有効回答者数	132
不明・順位の不明	53
非該当	29
合計	214



次に、順位の記入のあったものだけを取り出して、1位=3点、2位=2点、3位=1点で点数化した結果を示したのが表 28、図 23 である。これによると点数の相対的に高い項目は、順に「あいりん地域に事業主や従業員が直接出向き求人する」、「顔なじみの労働者に直接連絡する」、「西成センターの窓口で求人を依頼する」となっていることがわかった。

表 29 問 17① 必要なときにきてくれる、顔なじみの日雇労働者は何人位いますか

	事業所数	割合
いない	7	4.2
1-5 人	64	38.6
6-10 人	54	32.5
11-15 人	12	7.2
16-20 人	8	4.8
21-25 人	1	0.6
26-30 人	6	3.6
31-40 人	2	1.2
41-50 人	8	4.8
51-70 人	1	0.6
71-100 人	3	1.8
101 人以上	0	0.0
有効回答者数	166	100.0
不明	19	
非該当	29	
合計	214	

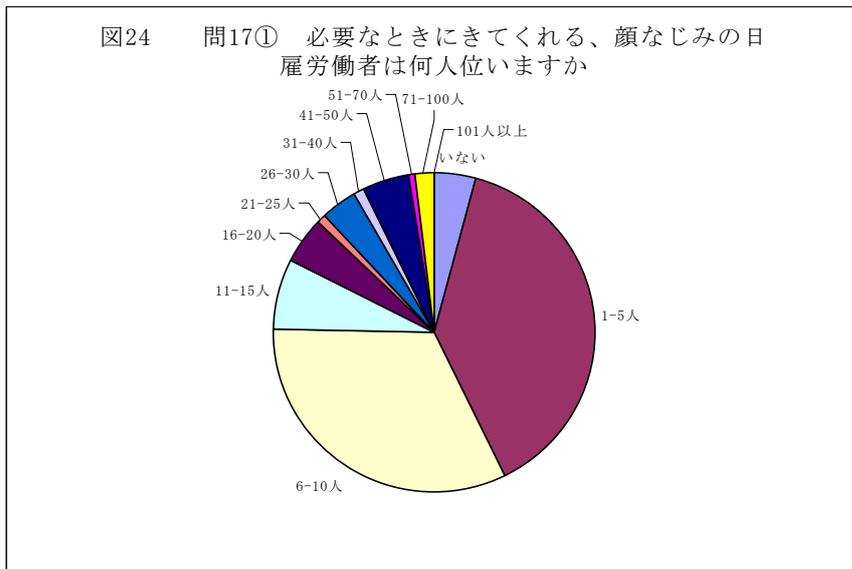


表29、図24は、必要なときに来てくれる顔なじみの日雇労働者は何人位いるかについて聞いた結果を示したものである。「1-5人」、「6-10人」と回答した事業所が相対的に多く、それぞれ64社（38.6%）、54社（32.5%）となっている。

表 30 問 17② 必要なときに来てくれる、顔なじみの日雇労働者のうちであいりん地域の日雇労働者は何人位いますか

	事業所数	割合
いない	10	6.5
1-5 人	76	49.4
6-10 人	39	25.3
11-15 人	5	3.2
16-20 人	10	6.5
21-25 人	2	1.3
26-30 人	4	2.6
31-40 人	2	1.3
41-50 人	4	2.6
51-70 人	1	0.6
71-100 人	1	0.6
101 人以上	0	0.0
有効回答者数	154	100.0
不明	31	
非該当	29	
合計	214	

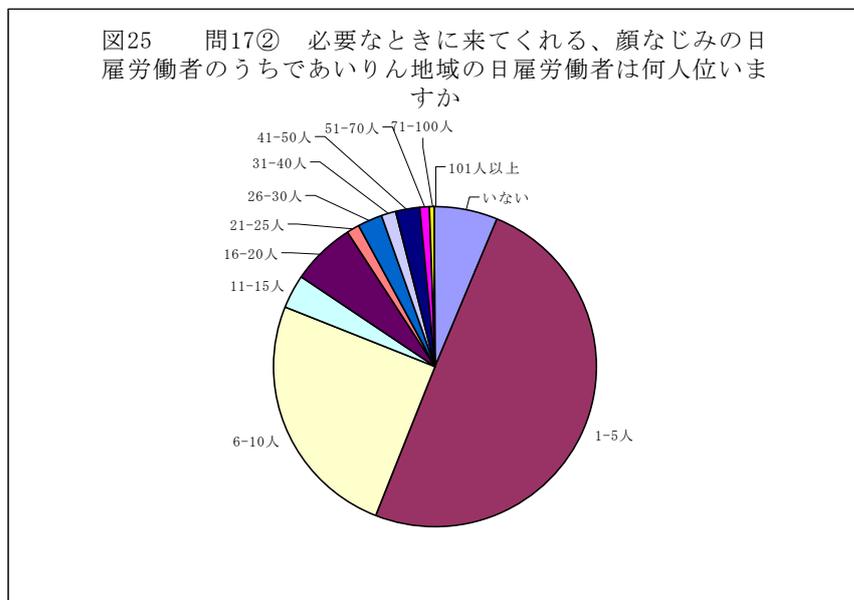


表 30、図 25 は、必要なときに来てくれる顔なじみの日雇労働者のうちであいりん地域の日雇労働者は何人位いるかについて聞いた結果を示したものである。「1-5 人」と回答した事業所が 76 社

(49.4%) と約半数に上っている。次に多かったのが「6-10人」で39社(25.3%)と、4分の1を占めていることがわかる。

表31 問17-1 顔なじみの人によく声をかける理由は何ですか  
(複数回答)

	事業所数	割合
①技術が確かである	101	60.1
②体力がある	38	22.6
③必要な資格を持っている	38	22.6
④急に休むことがない	72	42.9
⑤同じ人を使うように元請などからの指示がある	73	43.5
⑥その他	2	1.2
有効回答数	324	192.9
有効回答者数	168	
不明	10	
非該当	36	
合計	214	

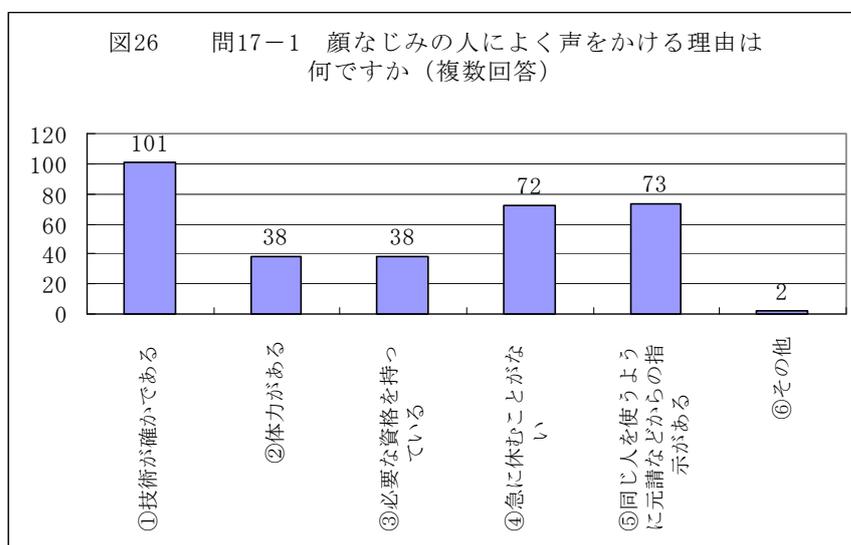
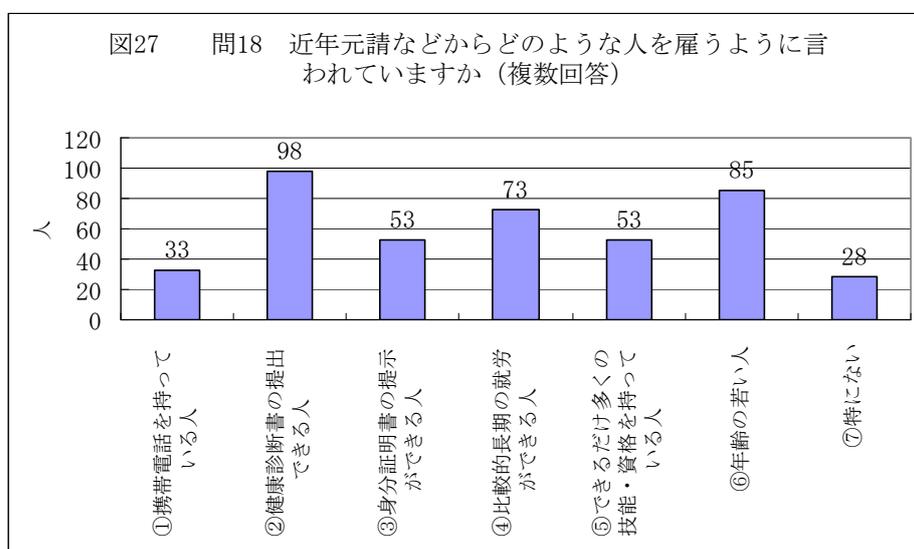


表31、図26は、顔なじみの人によく声をかける理由は何かを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「技術が確かである」と回答した事業所が101社(60.1%)で、6割に上っている。また、「同じ人を使うように元請などからの指示がある」、「急に休むことがない」と回答した事業所もそれぞれ4割を超えている。

表 32 問 18 近年元請などからどのような人を雇うように言われていますか  
(複数回答)

	事業所数	割合
①携帯電話を持っている人	33	18.4
②健康診断書の提出できる人	98	54.7
③身分証明書の提示ができる人	53	29.6
④比較的長期の就労ができる人	73	40.8
⑤できるだけ多くの技能・資格を持っている人	53	29.6
⑥年齢の若い人	85	47.5
⑦特にない	28	15.6
有効回答数	423	236.3
有効回答者数	179	
不明	6	
非該当	29	
合計	214	

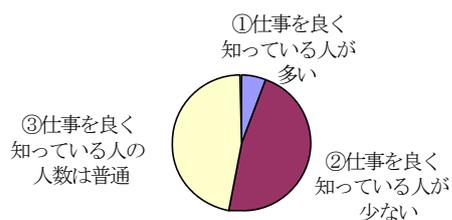


近年元請などからどのような人を雇うように言われているかを、複数回答で聞いた結果を示したのが、表 32、図 27 である。「健康診断書の提出できる人」と回答した事業所が 98 社 (54.7%) と過半数に上っており、最も高い割合を占めている。続いて、「年齢の若い人」が 85 社 (47.5%)、「比較的長期の就労ができる人」が 73 社 (40.8%) で一定数を占めている。

表 33 問 19① 最近のあいりん地域の状況のうち、仕事を良く知っている人の数について、どう感じておられますか

	事業所数	割合
①仕事を良く知っている人が多い	10	6.1
②仕事を良く知っている人が少ない	76	46.3
③仕事を良く知っている人の人数は普通	78	47.6
有効回答者数	164	100.0
不明	21	
非該当	29	
合計	214	

図 28 問 19① 最近のあいりん地域の状況のうち、仕事を良く知っている人の数について、どう感じておられますか



最近のあいりん地域の状況のうち、仕事を良く知っている人の数について、どう感じているかを聞いたところ、「仕事を良く知っている人の人数は普通」と回答した事業所は78社（47.6%）で最も多かった（表 33、図 28）。ただし、「仕事を良く知っている人が少ない」と回答した事業所も76社（46.3%）とわずかの差が続いている。

表 34 問 19② 最近のあいりん地域の状況のうち、技能を持っている人の数について、どう感じておられますか

	事業所数	割合
①技能を持っている人が多い	7	4.4
②技能を持っている人が少ない	83	52.5
③技能を持っている人の人数は普通	68	43.0
有効回答者数	158	100.0
不明	27	
非該当	29	
合計	214	

図 29 問 19② 最近のあいりん地域の状況のうち、技能を持っている人の数について、どう感じておられますか

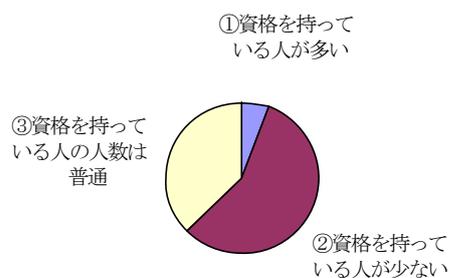


最近のあいりん地域の状況のうち、技能を持っている人の数について、どう感じているかを聞いたところ、「技能を持っている人が少ない」と回答した事業所が 83 社 (52.5%) で最も多かった (表 34、図 29)。ただし、「技能を持っている人の人数は普通」と回答した事業所も 68 社 (43.0%) と 9.5 ポイントの差が続いている。

表 35 問 19③ 最近のあいりん地域の状況のうち、資格を持っている人の数について、どう感じておられますか

	事業所数	割合
①資格を持っている人が多い	9	5.8
②資格を持っている人が少ない	88	56.8
③資格を持っている人の人数は普通	58	37.4
有効回答者数	155	100.0
不明	30	
非該当	29	
合計	214	

図 30 問 19③ 最近のあいりん地域の状況のうち、資格を持っている人の数について、どう感じておられますか



最近のあいりん地域の状況のうち、資格を持っている人の数について、どう感じているかにかを聞いたところ、「資格を持っている人が少ない」と回答した事業所が 88 社（56.8%）で最も多かった（表 35、図 30）。次に多かったのが、「資格を持っている人の人数は普通」と回答した事業所で 58 社（37.4%）であった。

表 36 問 19④ 最近のあいりん地域の状況のうち、必要な人を雇えるのかどうかについて、  
どう感じておられますか

	事業所数	割合
①必要な人を雇いやすい	19	11.7
②必要な人を雇うのが難しい	90	55.2
③必要な人を雇えるかどうかの状況は以前と変わらない	54	33.1
有効回答者数	163	100.0
不明	22	
非該当	29	
合計	214	

図 31 問 19④最近のあいりん地域の状況のうち、必要な人を雇えるのかどうかについて、どう感じておられますか



最近のあいりん地域の状況のうち、必要な人を雇えるのかどうかについて、どう感じているかを聞いたところ、「必要な人を雇うのが難しい」と回答した事業所が 90 社（55.2%）で最も多かった（表 36、図 31）。次に多かったのが、「必要な人を雇えるかどうかの状況は以前と変わらない」と回答した事業所で 54 社（33.1%）であった。

表 37 問 20 あいりん労働福祉センターの1階寄場で求人をしていますか

	事業所数	割合
①常時利用している	30	16.9
②ときどき利用している	58	32.6
③以前は利用していたが今はしていない	46	25.8
④利用したことがない	44	24.7
有効回答者数	178	100.0
不明	7	
非該当	29	
合計	214	

図32 問20 あいりん労働福祉センターの1階寄場で求人をしていますか

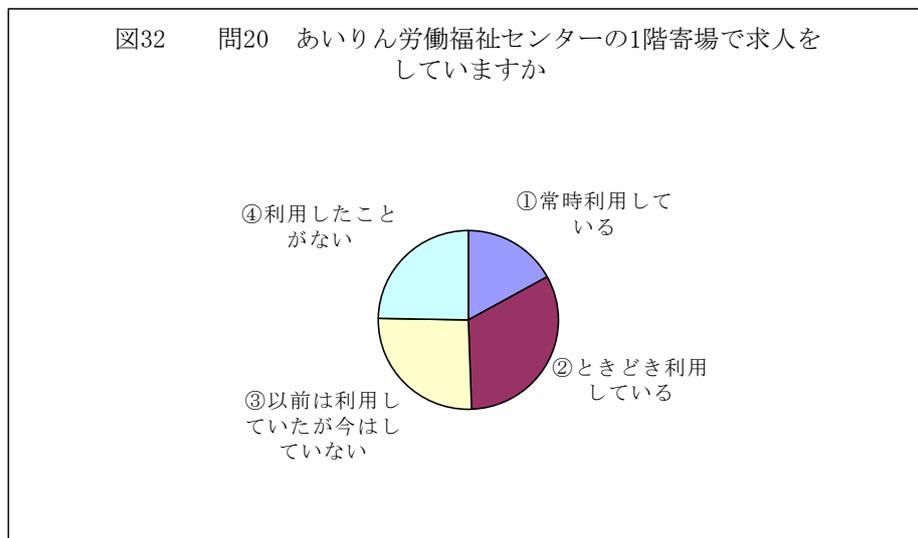
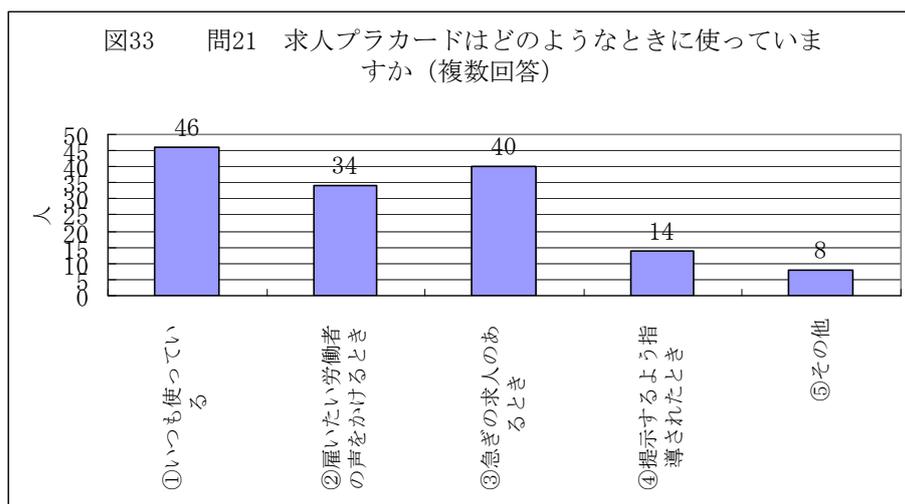


表 37、図 32 は、あいりん労働福祉センターの1階寄場で求人をしているかどうかを聞いた結果を示したものである。「ときどき利用している」と回答した事業所が最も多く 58 社 (32.6%) に上っている。次いで、「以前は利用していたが今はしていない」、「利用したことがない」、「常時利用している」の順にそれぞれ 46 社 (25.8%)、44 社 (24.7%)、30 社 (16.9%) となっている。

表 38 問 21 求人プラカードはどのようなときに使っていますか  
(複数回答)

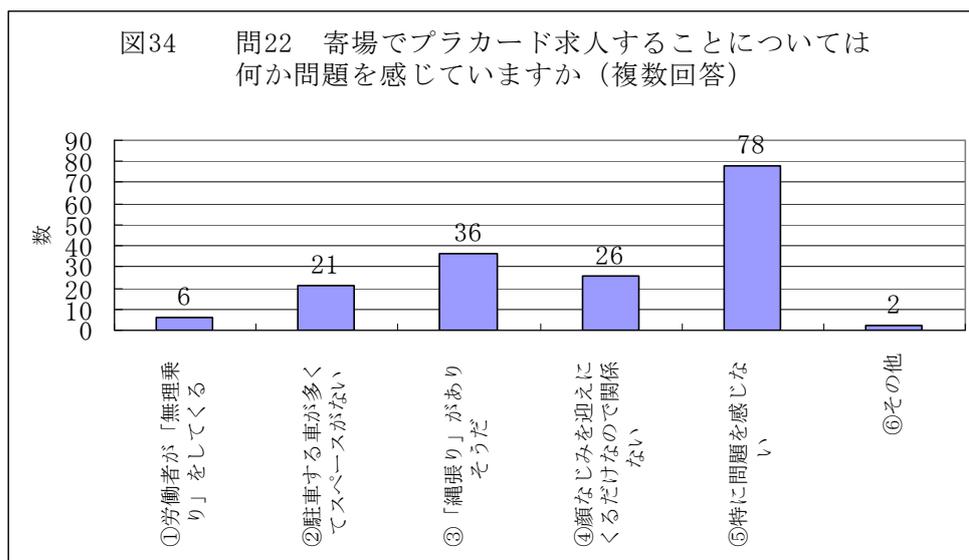
	事業所数	割合
①いつも使っている	46	37.7
②雇いたい労働者の声をかけるとき	34	27.9
③急ぎの求人のあるとき	40	32.8
④提示するよう指導されたとき	14	11.5
⑤その他	8	6.6
有効回答数	142	116.4
有効回答者数	122	
不明	40	
非該当・プラカードは使っていない	52	
合計	214	



求人プラカードはどのようなときに使っているかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 38、図 33 である。「いつも使っている」と回答した事業所が 46 社 (37.7%) で最も多かった。また、「急ぎの求人のあるとき」と回答した事業所が 40 社 (32.8%)、「雇いたい労働者の声をかけるとき」と回答した事業所が 34 社 (27.9%) となっており、一定数を占めている。

表 39 問 22 寄場でプラカード求人をすることについては何か問題を感じていますか(複数回答)

	事業所数	割合
①労働者が「無理乗り」をしてくる	6	4.4
②駐車する車が多くてスペースがない	21	15.3
③「縄張り」がありそうだ	36	26.3
④顔なじみを迎えにきてくれるだけなので関係ない	26	19.0
⑤特に問題を感じない	78	56.9
⑥その他	2	1.5
有効回答数	169	123.4
有効回答者数	137	
不明・非該当	77	
合計	214	



寄場でプラカード求人をすることについて、何か問題を感じているかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 39、図 34 である。「特に問題を感じない」と回答した事業所が 78 社 (56.9%) で半数を超え突出して多くなっている。次いで、「『縄張り』がありそうだ」が 36 社 (26.3%) で 2 割 5 分を占めている。

表 40 問 23 西成センターの窓口求人を利用したことがありますか

	事業所数	割合
①ある	114	65.5
②ない	60	34.5
有効回答者数	174	100.0
不明	11	
非該当	29	
合計	214	

表 40 は、西成センターの窓口求人を利用したことがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答した事業所が 114 社 (65.5%)、「ない」と回答した事業所が 60 社 (34.5%) となっており、西成センターの窓口求人を利用したことがある事業所は 6 割 5 分を超えていることがわかる。

表 41 問 23-1 窓口求人を利用していない理由は何でしょうか(複数回答)

	事業所数	割合
①急ぎの仕事に間に合わない	18	40.9
②西成センターが紹介する労働者の技術や技能にばらつきがある	2	4.5
③寄場などで面談するほうがよい	20	45.5
④同業者に頼むなど他の方法を使っている	13	29.5
⑤窓口求人があることを知らなかった	2	4.5
⑥その他	3	6.8
有効回答数	58	131.8
有効回答者数	44	
不明	16	
非該当	154	
合計	214	

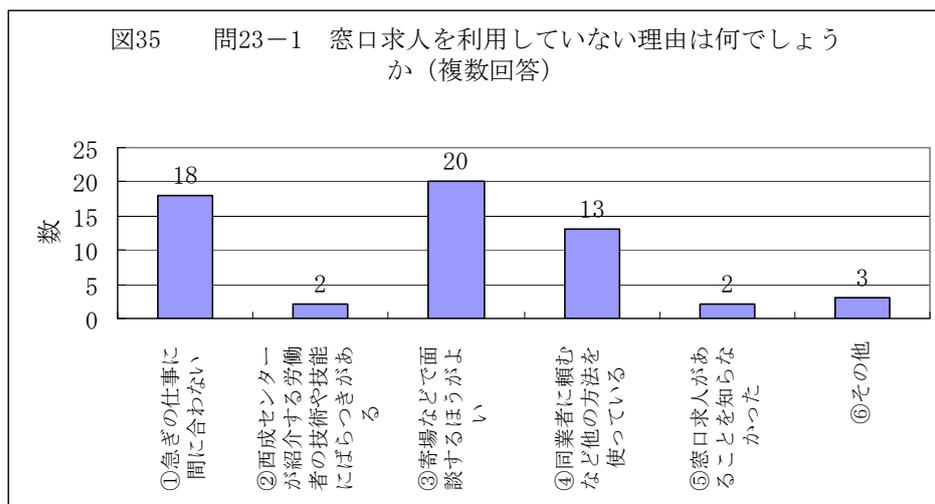
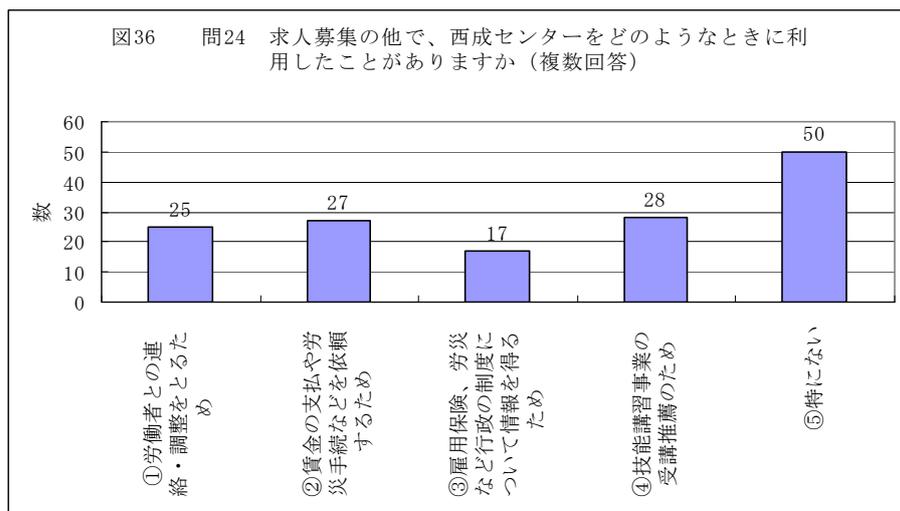


表 41、図 35 は、窓口求人を利用していないと回答した事業所に対してその理由を聞いた結果を示したものである。「寄場などで面談する方がよい」と回答した事業所が 20 社（45.5%）で 4 割 5 分を占めている。また、「急ぎの仕事に間に合わない」と回答した事業が 18 社（40.9%）で 4 割となっている。

表 42 問 24 求人募集の他で、西成センターをどのようなときに利用したことがありますか（複数回答）

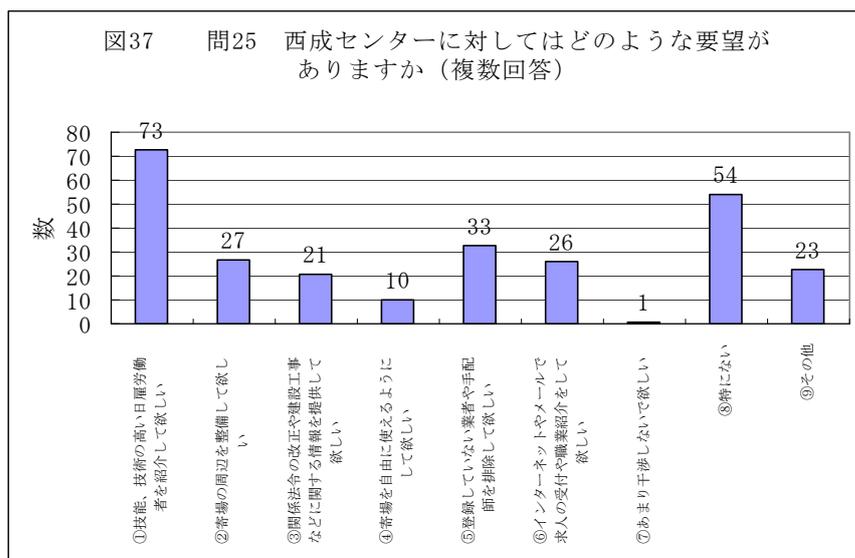
	事業所数	割合
①労働者との連絡・調整をとるため	25	21.7
②賃金の支払や労災手続などを依頼するため	27	23.5
③雇用保険、労災など行政の制度について情報を得るため	17	14.8
④技能講習事業の受講推薦のため	28	24.3
⑤特になし	50	43.5
有効回答数	147	127.8
有効回答者数	115	
不明	70	
非該当	29	
合計	214	



求人募集の他で、西成センターをどのように利用したことがあるかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 42、図 36 である。「特にない」と回答した事業所が 50 社（43.7%）で最も多くなっている。また、「技能講習事業の受講推薦のため」、「賃金の支払や労災手続などを依頼するため」、「労働者との連絡・調整をとるため」と回答した事業所もそれぞれ 2 割を超えている。

表 43 問 25 西成センターに対してはどのような要望がありますか（複数回答）

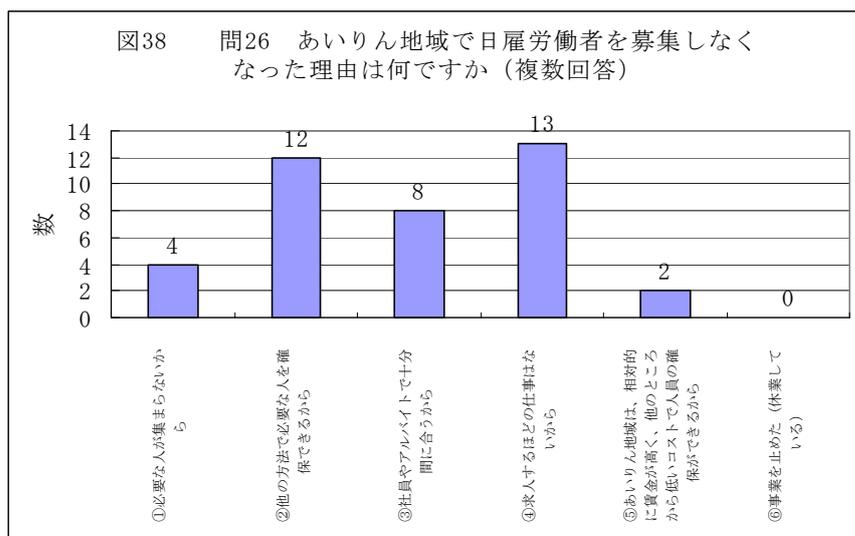
	事業所数	割合
①技能、技術の高い日雇労働者を紹介して欲しい	73	42.4
②寄場の周辺を整備して欲しい	27	15.7
③関係法令の改正や建設工事などに関する情報を提供して欲しい	21	12.2
④寄場を自由に使えるようにして欲しい	10	5.8
⑤登録していない業者や手配師を排除して欲しい	33	19.2
⑥インターネットやメールで求人受付や職業紹介をして欲しい	26	15.1
⑦あまり干渉しないで欲しい	1	0.6
⑧特にない	54	31.4
⑨その他	23	13.4
有効回答数	268	155.8
有効回答者数	172	
不明	13	
非該当	29	
合計	214	



西成センターに対してどのような要望があるかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 43、図 37である。最も多かったのが「技能、技術の高い日雇労働者を紹介して欲しい」と回答した事業所で73社（42.4%）と4割強に上っている。次いで、「特にない」と回答した事業所が54社（31.4%）で3割となっている。また、「登録していない業者や手配師を排除して欲しい」、「寄場の周辺を整備して欲しい」、「インターネットやメールで求人の受付や職業紹介をして欲しい」などの項目も、一定数を占めている。

表 44 問26 あいりん地域で日雇労働者を募集しなくなった理由は何ですか（複数回答）

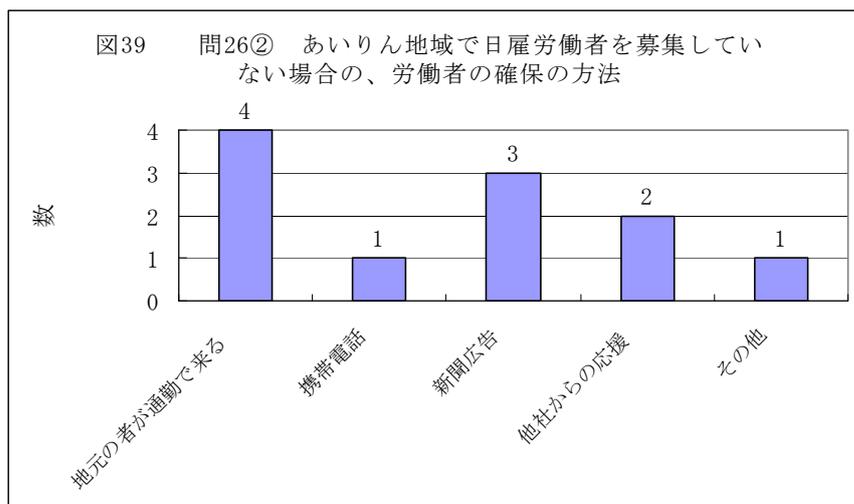
	事業所数	割合
①必要な人が集まらないから	4	17.4
②他の方法で必要な人を確保できるから	12	52.2
③社員やアルバイトで十分間に合うから	8	34.8
④求人するほどの仕事はないから	13	56.5
⑤あいりん地域は、相対的に賃金が高く、他のところから低いコストで人員の確保ができるから	2	8.7
⑥事業を止めた(休業している)	0	0.0
有効回答数	39	169.6
有効回答者数	23	
不明	2	
非該当	189	
合計	214	



先の間 11 で、最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇用していないと回答した事業所に対して、あいりん地域で日雇労働者を雇用しなくなった理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 44、図 38 である。最も多かった「求人するほどの仕事はないから」と回答した事業所は 13 社（56.5%）、次に多かった「他の方法で必要な人を確保できるから」と回答した事業所は 12 社（52.2%）でいずれも半数を超えている。

表 45 問 26② あいりん地域で日雇労働者を募集していない場合の、日雇労働者の確保の方法（複数回答）

	事業所数	割合
地元の者が通勤で来る	4	44.4
携帯電話	1	11.1
新聞広告	3	33.3
他社からの応援	2	22.2
その他	1	11.1
有効回答数	11	122.2
有効回答者数	9	
不明	3	
非該当	202	
合計	214	

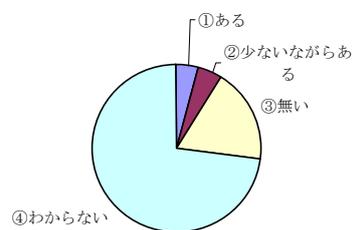


あいりん地域で日雇労働者を募集していないと回答した事業所のうち、他の方法で必要な人を確保している事業所に、その方法を聞いた結果を示したのが表 45、図 39 である。「地元の者が通勤で来る」と回答した事業所が 4 社、「新聞広告」と回答した事業所が 3 社、「他社からの応援」と回答した事業所が 2 社、「携帯電話」と回答した事業所が 1 社となっている。

表 46 問 27 今後、あいりん地域で日雇労働者を募集する可能性はありますか

	事業所数	割合
①ある	1	4.5
②少ないながらも	1	4.5
③無い	4	18.2
④わからない	16	72.7
有効回答者数	22	100.0
不明	3	
非該当	189	
合計	214	

図40 問27 今後、あいりん地域で日雇労働者を募集する可能性はありますか



先の間 11 で、最近 3 年間であいりん地域の日雇労働者を雇用していないと回答した事業所に対して、今後、あいりん地域で日雇労働者を募集する可能性があるかどうかを聞いた結果を示したのが、表 46、図 40 である。「わからない」と回答した事業所が 16 社（72.7%）で突出して多くなっている。